

株主通信「イードプレス」

iid
Press

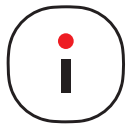
We are the User Experience Company.



第23期

2022年6月期（2021.7.1～2022.6.30）

通期報告書



株主の皆さまへ TOP MESSAGE

株主の皆さまにおかれましては、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

2022年6月期は、広告市場における新型コロナウイルス感染症の影響が想定より軽微だったことなどもあり、クリエイタープラットフォーム事業（CP事業）は全般的に好調に推移しました。またクリエイターソリューション事業（CS事業）についても安定的に好調を維持することができた結果、連結売上高は5,574百万円と過去最高を更新することができました。さらに全社的なコスト削減効果もあり、営業利益も過去最高の638百万円で前期比1.4倍の大幅増となりました。

当社が目指すクリエイターエコノミーカンパニーに向けての取り組みとしましては、Web3領域に特化したアクセラレーター、「Arriba Studio」への投資や、Web3領域で注目されるサービスやプラットフォームを中心に豊富な事例を提供する「Web3事例データベース」の事業取得など、重点項目と位置付けるWeb3.0領域において積極的な投資を行っております。

そのほかにも、引き続き積極的なM&Aや戦略投資を実行し、昨年掲げた2026年6月期に売上高100億円、EBITDA12億円の中期業績目標の達成に向けて、事業領域の拡大を図っております。

また、このたび、従来のM&Aや新規事業開発への成長投資と併せて、株主の皆様への利益還元の姿勢をより明確にするために、安定的かつ継続的な配当を重視する方針に変更いたしました。初回は2023年6月期末に、連結株主資本配当率（DOE）1.5%を目安に、配当を実施する方針として公表いたしましたのでご報告申し上げます。

私たちイードグループは、中期業績目標の達成に向けて引き続き精進するとともに、社会の一員としてESGやSDGsなどの観点も踏まえ、社会的意義のある企業活動を通じて企業価値の向上を目指してまいります。

今後とも引き続きご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。



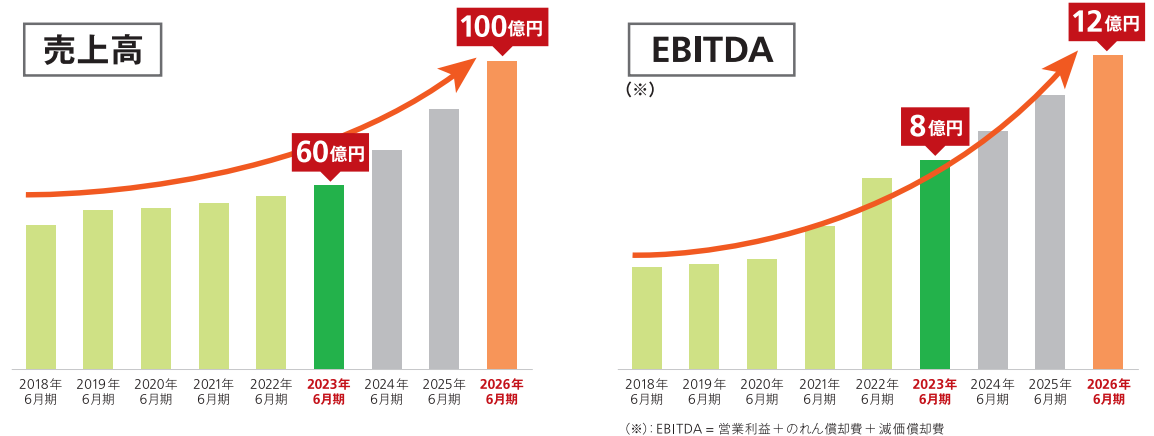
株式会社 イード
代表取締役 宮川 洋

Contents

株主・投資家の皆さまへ	1	特集	7
中期の成長計画	2	会社概要・株主の概況	9
2022年通期 業績ハイライト	5		

中期業績目標について

クリエイタープラットフォーム事業（CP事業）を主軸に、積極的なM&Aや事業開発により、手がけるメディアや事業領域の拡大を図るとともに、各領域でのビジネスモデルの多角化、事業機会と収益の多様化・最大化により、2026年6月期で連結の売上高100億円、EBITDA12億円を目指します。



株主還元方針について

従来のM&Aや新規事業開発への成長投資と併せて、株主の皆様への利益還元の姿勢をより明確にするために、安定的かつ継続的な配当を重視する方針に変更いたします。

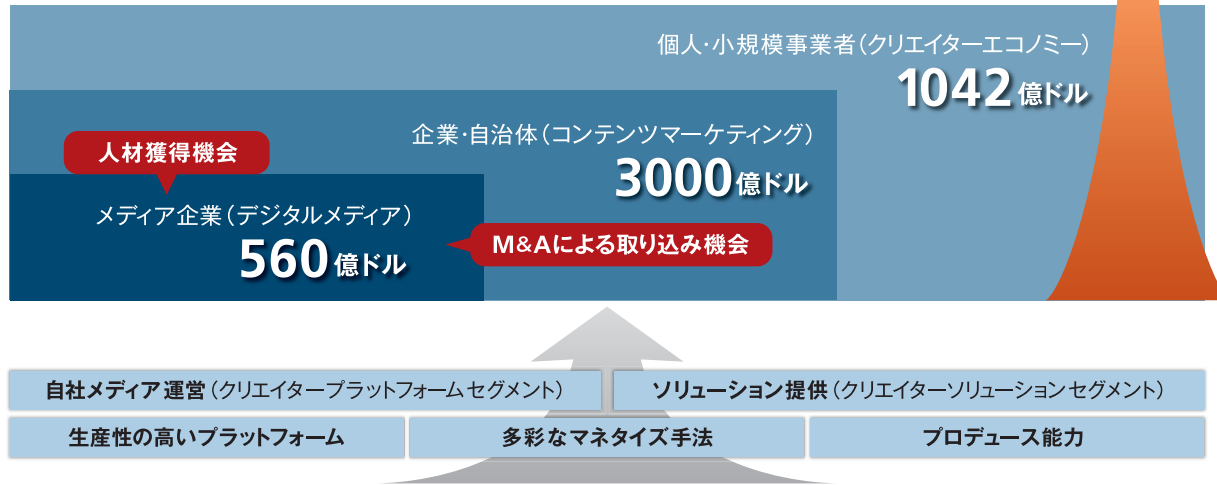
2023年6月期末に、
連結株主資本配当率(DOE) 1.5%
を目安に、配当を実施する方針

クリエイターエコノミーカンパニーへ

インターネットがWeb3.0に進化し、誰もがメディアになり、誰もがメディアを作る世界が到来しています。
イードは、プラットフォームとソリューションを通じて、誰もがメディア（発信者）となり生きていく
クリエイターエコノミーの世界をサポートしてまいります。

Creator Economy Company

市場参加者が増え拡大するメディア市場において
成長機会を追求します



各数値は世界市場のものです

デジタルメディアの市場規模予測 (2021年)

<https://www.thebusinessresearchcompany.com/report/digital-publishing-global-market-report-2020-30-covid-19-implications-and-growth>

コンテンツマーケティングの市場規模 (2020年)

<https://www.businesswire.com/news/home/20210126005925/en/Global-Content-Marketing-Market-Trajectory-Analytics-Report-2020-2027-Lead-Generation-is-Projected-to-Account-for-US295.1-Billion-of-the-Total-829.6-Billion-Industry---ResearchAndMarkets.com>

クリエイターエコノミーの市場規模予測 (2021年)

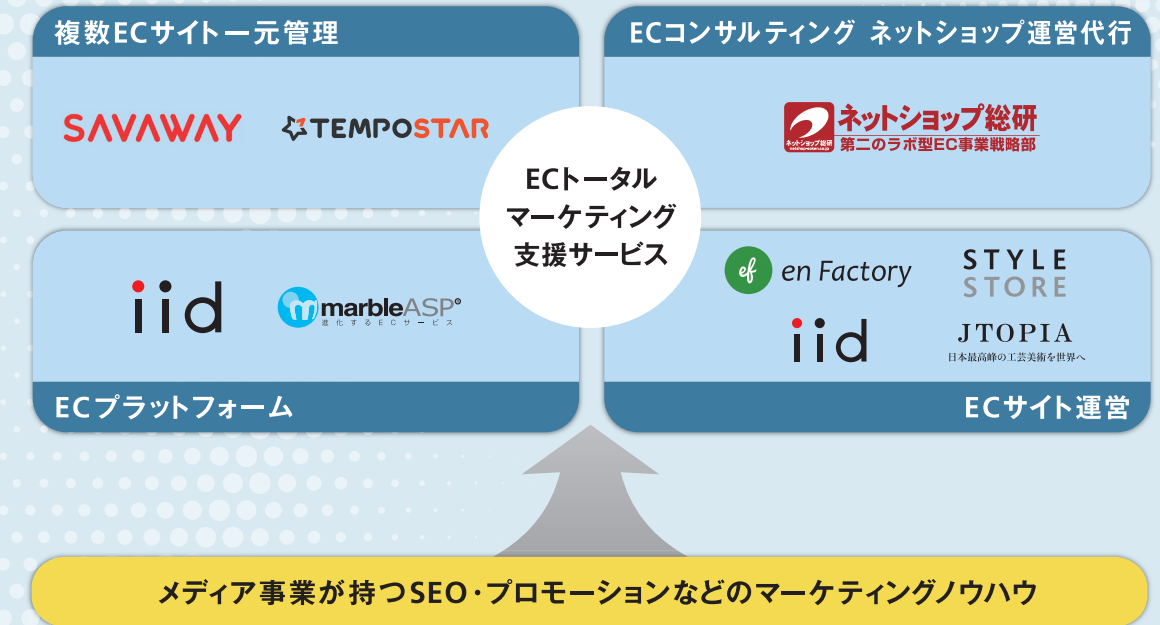
<https://influencermarketinghub.com/creator-earnings-benchmark-report/>

EC関連事業を強化

～ECのトータルマーケティング支援サービスを拡充

昨年7月のSAVAWAY子会社化を機に、「SAVAWAY × ネットショップ総研」、「SAVAWAY × エンファクトリー」など、それぞれのアセットを掛け合わせたグループ内連携を進めています。

さらにメディア事業のSEOやプロモーションなどのノウハウも組み入れることで、ECサイトのトータルマーケティング支援サービスを拡充しています。



2022年6月期通期 業績ハイライト

- ・連結の売上高は過去最高を更新
- ・連結の営業利益は前期比1.4倍と大幅増

連 結			
	2022年6月期	2021年6月期	前期比
売上高	5,574	－	－
売上高 ※新収益認識適用前	6,012	5,407	111%
営業利益	638	454	140%
営業利益率	11.4%	8.4%	－

(注1) 当期2Qより、事業セグメントの名称を以下のとおり変更しました。

コンテンツマーケティングプラットフォーム事業（CMP事業） → クリエイタープラットフォーム事業（CP事業）
コンテンツマーケティングソリューション事業（CMS事業） → クリエイターソリューション事業（CS事業）

(注2) 当期2022年6月期から新収益認識会計基準を適用。適用前後で影響のある科目については前期比を記載していません。

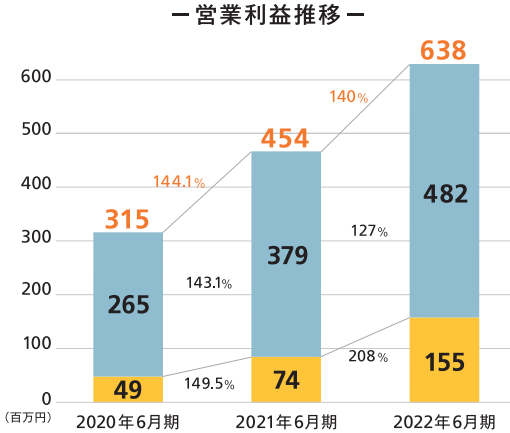
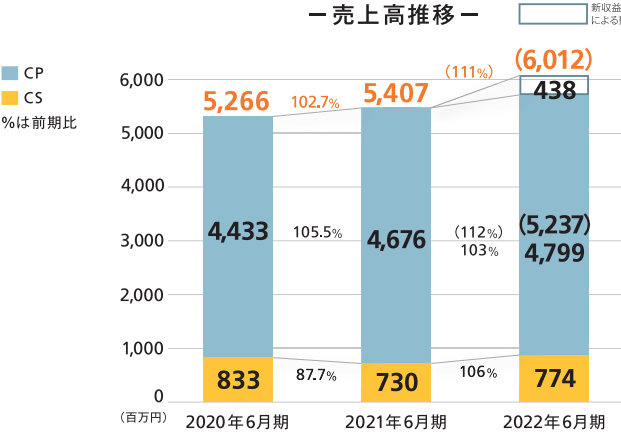
C P			
	2022年6月期	2021年6月期	前期比
売上高	4,799	－	－
売上高 ※新収益認識適用前	5,237	4,676	112%
営業利益	482	379	127%
営業利益率	10.1%	8.1%	－

C S			
	2022年6月期	2021年6月期	前期比
売上高	774	730	106%
営業利益	155	74	208%
営業利益率	20.1%	10.2%	+9.9pt

(百万円)

2022年6月期通期 セグメント別売上高、営業利益の推移

- ・CP事業の売上高は堅調に推移、営業利益も順調に拡大
- ・CS事業は粗利率の高い案件に注力し、営業利益は前期比208%と大幅伸長



2022年6月期通期 連結損益計算書

- ・営業利益、経常利益ともに前期比約1.4倍
- ・前期の当期純利益は絵本ナビの株式売却益等の影響

売上高は5,574百万円、新収益認識適用前では6,012百万円(前期比111%)、営業利益は638百万円(前期比140%)、経常利益は638百万円(前期比138%)、当期純利益は450百万円(前期比97%)となりました。

売上高、営業利益ともに従来通りCP事業が連結全体を牽引しましたが、CS事業も高利益率の大型案件が寄与したことで営業利益を大きく伸ばし、全事業がバランス良く業績に貢献しました。

また全社的なコスト削減努力も功を奏した結果、新型コロナウイルス感染症やウクライナ侵攻など、不透明な社会経済環境が続くなか、売上高、営業利益、経常利益は過去最高となりました。

	2022年6月期	5/2公表の業績予想	達成率	2021年6月期	前期比
売上高	5,574	5,700	97.8%	－	－
売上高 ※新収益認識適用前	6,012	－	－	5,407	111%
営業利益	638	600	106.3%	454	140%
経常利益	638	600	106.4%	464	138%
当期純利益	450	410	109.9%	464	97%

(注1) 当期純利益とは親会社株主に帰属する当期純利益のことです。

(注2) 当期2022年6月期から新収益認識会計基準を適用。
適用前後で影響のある科目については数値を記載していません。

(百万円)

2022年6月期通期 連結貸借対照表

- ・当期純利益(※)の堅調な積み上げにより利益剰余金が増加し、純資産も増加

当連結会計年度末における流動資産は4,050百万円(前連結会計年度末比132百万円増加)となりました。これは主に受取手形、売掛金及び契約資産が67百万円増加したこと等によるものです。固定資産は1,118百万円(前連結会計年度末比313百万円の増加)となりました。これは主に投資有価証券が135百万円増加したこと、のれんが105百万円増加したこと等によるものです。以上の結果、総資産は5,169百万円(前連結会計年度末比445百万円増加)となりました。

当連結会計年度末における流動負債は1,057百万円(前連結会計年度末比135百万円増加)となりました。これは主に未払費用が85百万円増加、買掛金が49百万円増加したこと等によるものです。固定負債は283百万円(前連結会計年度末比70百万円減少)となりました。これは主に長期借入金が80百万円減少したことによるものです。以上の結果、負債合計は1,340百万円(前連結会計年度末比65百万円増加)となりました。

当連結会計年度末における純資産合計は3,828百万円(前連結会計年度末比380百万円増加)となりました。これは主に、利益剰余金が439百万円増加したこと、当期中に自己株式を114百万円取得したこと等によるものです。

	2022年6月期	2021年6月期	増減額
流動資産	4,050	3,918	+132
固定資産	1,118	805	+313
資産合計	5,169	4,724	+445
流動負債	1,057	922	+135
固定負債	283	353	▲70
負債合計	1,340	1,275	+65
株主資本	3,760	3,385	+375
利益剰余金	2,078	1,639	+439
自己株式	▲85	▲29	▲56
純資産	3,828	3,448	+380
負債・純資産	5,169	4,724	+445

(※) 当期純利益とは親会社株主に帰属する当期純利益のことです。

(百万円)

積極的なM&Aや戦略投資で事業領域を拡大



2022年3月に惜しまれながら閉鎖された「Engadget日本版」の中心メンバーによって設立された株式会社テクノコアに対して戦略投資を実行し、共同で新たなテクノロジーメディア「テクノエッジ」をオープンしました。

JTOPIA

日本最高峰の工芸美術を世界へ



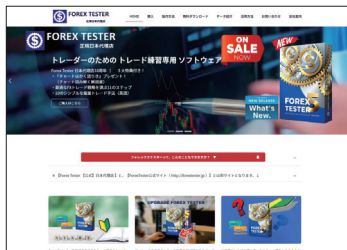
有田焼を中心とした高級伝統工芸専門のECサイト「JTOPIA」をG2株式会社から事業取得しました。「JTOPIA」は数万点に及ぶ窯元・作家作品の中から、ショップオーナー自らが目利きした作品のみを厳選したセレクトショップです。



リカー・イノベーション株式会社より、2013年から運営を開始したお酒の専門メディア「nomooo」を事業取得しました。“お酒のある生活をもっと楽しく”をコンセプトに最新の商品紹介、お酒の飲み方、オススメのお酒など初心者から上級者まで楽しめる情報を発信。

FXトレーニングツール

FOREX TESTER



世界的に利用されているFXトレーダーのためのトレーニングツール「FOREX TESTER」の正規日本代理店の事業を取得し運営を開始しました。マーケットでのFXトレードをシミュレーションし、学習するためのツールです。

Web3領域への投資とB2Bメディアの強化

インターネットの次の進化と目されるWeb3領域に対して積極的に投資を行っています。

「Web3事例データベース」を事業取得



Web3の最新トレンドを把握するための「Web3資金調達データベース」、注目のWeb3プロジェクトを分類した「Web3カオスマップ」、特に注目のプロジェクトを解説した「Web3事例集」をパッケージにして提供する「Web3事例データベース」の事業を取得しました。本サービスは月額5万円のサブスクリプションモデルのビジネスで、Web3領域に関心を持つ企業の新規事業担当者、経営企画等担当者などに拡販していきます。

投資ファンド「Arriba Studio」へ出資



Web3やNFT領域の起業家を支援する、シンガポールを拠点とするファンド、アクセラレーターの「Arriba Studio PTE, LTD.」に初期投資家として投資実行しました。同ファンドは日本国内でWeb3領域で実績のあるメンバーによって設立されており、既に複数の投資を実行しています。こうしたファンドへの投資を通じて、国内外の有力なWeb3スタートアップとの連携を模索します。

各業界のビジネスパーソンに向けたメディア展開を強化しています。

自動車領域のビジネスコンテンツを強化



自動車総合ニュースサイト「レスポンス」をリニューアルし、B2Bに特化した「mirai.Response」を統合。会員限定のプレミアムコンテンツを強化し、セミナーやレポートなども拡充。今後は「自動車総合情報プラットフォーム」として、更にビジネスパーソンに有益なコンテンツやサービスの提供を目指します。

「決算が読めるようになるノート」を事業取得



ビジネスパーソン向けに国内外のIT企業やスタートアップを中心に決算解説を行い、6万人のフォロワーを抱える「決算が読めるようになるノート」の事業を取得しました。こちらもサブスクリプション型課金のビジネスモデルです。



会社概要

会社名 株式会社イード（IID, Inc.）
設立 2000年4月28日
所在地 〒164-0012 東京都中野区本町1-32-2 ハーモニータワー17階
資本金 883,053千円
事業内容 メディア事業／リサーチ事業／メディアコマース事業
従業員数 単体154名／連結239名
子会社 株式会社エンファクトリー
株式会社ネットショップ総研
マイケル株式会社
SAVAWAY株式会社
株式会社リンク
持分法適用 株式会社絵本ナビ
SODA株式会社

役員

代表取締役 宮川 洋
取締役 須田 亨
取締役○ 大和田 廣樹 （株式会社ECBOスクエア 代表取締役会長）
取締役○ 吉崎 浩一郎 （株式会社グロース・イニシアティブ 代表取締役）
監査役 山中 純雄
監査役○ 安達 美雄
監査役○ 藤山 剛 （株式会社ラウンドアバウト・キャピタル 代表取締役）

○＝社外役員

株主の概況

発行可能株式総数 8,000,000株
発行済株式の総数 5,026,400株
株主数 2,061名

■大株主の順位

順位	大株主名	株式数	持株比率
1	エキサイト株式会社	706,900	14.34%
2	株式会社博報堂DYメディアパートナーズ	517,700	10.50%
3	株式会社マイナビ	400,000	8.11%
4	株式会社SBI証券	303,901	6.16%
5	株式会社ティーガイア	250,000	5.07%
5	株式会社ポブラ社	250,000	5.07%
7	電通デジタル投資事業有限責任組合	200,000	4.05%
8	宮川 洋	169,700	3.44%
9	永井 詳二	150,000	3.04%
10	中坊 勇太	114,800	2.32%

（注1）2022年6月30日時点の株主名簿に基づき記載しております。

（注2）当社は、2022年6月30日時点で自己株式98,393株を保有しており、持株比率は自己株式を控除して計算しております。

株式についてのご案内（株主メモ）

上場市場 東京証券取引所グロース
証券コード 6038
事業年度 毎年7月1日から翌年6月30日まで
定時株主総会 毎年事業年度終了後3ヶ月以内
株主確定基準日 毎年6月30日
株式の売買単位 100株
公告掲載方法 電子公告により行います。公告掲載URL：http://www.iid.co.jp/company/koukoku
やむを得ない事由により電子公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。
株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号
同事務取扱場所 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号
連絡先・郵便物送付先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
TEL：0120-232-711（フリーダイヤル）

株主通信「イードプレス」

We are the User Experience Company.

iid
Press



第23期

2022年6月期（2021.7.1～2022.6.30）

通期報告書

株式会社イード
(証券コード 6038)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報や判断に基づくものであり、不確実な要素を含んでおります。実際の業績は様々な要因により大きく異なる可能性がありますことをご了承ください。本資料の掲載内容については細心の注意を払っておりますが、その内容の正確性及び確実性を保証するものではないことをあらかじめご了承ください。

IRサイトのご案内

イード IR

検索

<http://www.iid.co.jp/ir/>